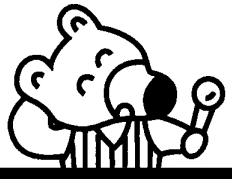
資料番号2728



恐竜の先祖は何なの

●サンショウウオなどの仲間が先祖

今生きている、あらゆる生き物の先祖をたどっていくと、最後は、地球に初めて現れた、簡単なつくりのバクテリアのような生き物にたどりつきます。海の中で生まれた最初の生き物が、少しずつ進化して、まわりの環境に合わせて、生きやすい体のつくりをもつ、さまざまな種類の動物に分かれてきたのです。

海の中でいちばん発達した生き物は、背骨をもつ魚の仲間でした。やがて、陸の上でも少しの間ならくらせる両生類が、魚から進化して現れました。両生類には、サンショウウオやイモリ、カエルなどがいます。

●陸上で生活できるようになった最初の動物

このころ、湿気が多かった地球の気候がだんだんかわいてきて、乾燥に強い特長をもつ、は虫類が現れてきます。今から３億万年前ぐらいのことです。は虫類は、体がうろこでおおわれていて、卵も水気がない所でもだいじょうぶなように、殻でしっかり包まれているのが、両生類とちがっています。

このは虫類から、いろいろな仲間が進化して分かれていきました。２億２０００万年前ごろ現れた、そう歯類（テコドント）というは虫類の仲間が、恐竜の先祖だといわれています。この仲間には、今いるワニの先祖も入っています。恐竜は、６５００万年前に絶めつするまでの１億４０００万年もの間、種類や仲間の数を増やして、さかえました。

（監修　・今泉　忠明）

魚　　両生類　　は虫類（恐竜）

無断複製：転載：翻訳を禁ず　Gakken